

めだかの学校だより

平成 24 年 2 月 1 日
第 75 号

学舎：東久留女木新田観音山
「みどりの郷キャンプ場」内
事務局：静岡県磐田市
家田 529-20
TEL0539-62-6691

校長訓話

第七十五回 校長 鈴木 一記

前回のめだかの学校で「外国人のスピーチはユーモアから始まるが、日本人のスピーチは言い訳から始まる」という話を聞いて爆笑してしまいました。今こうして校長訓話を書けといわれ、言い訳がましい話しか思い浮かばない自分に失笑しています。

しかし、私にとって、めだかの学校は、人生の大先輩たちが、おもしろい話や奥の深い話を聞かせてくれる場所であって、自分が話をするなんて全く想定していませんでした。ですから今、マジメに困っています。

榊原さんには「田んぼのことやら、写真のことやら、書くことはいっぱいあるじゃないか」と言われましたが、どれも地味な話ばかりなんですよね。

今度は校長の話がおもしろくないから、出席者がいつもの半分しかないかった：なんてことになったらどうしよう。もう、天井が落ちてきたらどう地下鉄はどこから入れるのか？ってうぐらいい心配しています。

そうはいっても、背伸びしたところ

でポロが出るだけです。写真の話でもさせていただきます。

私が写真を撮り始めたきっかけは「夕焼けが撮りたかった」からです。というときどきクスッと笑われるので「そこは笑うポイントじゃないよ」と言ってるんですが、それはともかく、私が子どもの頃、今のイオン市野シヨッピングセンターのあるところは、一面の原っぱで、地平線まで遮るものは何も無いダダっ広い場所でした。

学校の帰り道、ときどき素晴らしく美しい夕焼けに遭遇するんです。子ども心に「スゲー」と感動しても、五分もすると消えて暗闇になってしまふ。誰かに伝えようにも、あの美しさや感動は、言葉や文字では伝えられないんです。それが分かったとき「大きくなったら写真を勉強してみたい」と思ったのです。

勉強といっても独学の我流なんです。後で考えてみると、これって写真にとって、とても大切なことで、美しいと思っただけの瞬間や、感動した瞬間を人に伝えるために正確に記録する。というのは、写真の基本なんですよね。

ところが、なかなか写真ではおまんまは食えないので、普通にサラリーマンになって、十年以上、写真をお休みに

してしまいました。しかし、あるとき、また写真を撮りたいと思わせてくれるものに出会いました。それが久留女木の榊田でした。私に再びカメラを握らせたのは、やはり夕焼けと同じく、美しさや感動と、すぐに消えてしまふかもしれないという危機感でした。

今しか撮れない。なくなってしまうかもしれない。と思うと、疲れていても、仕事が終わってからも、つい、足が向いてしまうのです。

それから十五年、撮り続けた写真で（二〇一〇年）写真集を出版させていただきました。めだかのみなさんにも随分ご協力いただき、その節は本当にありがとうございました。

さて、これ以上書くと、話のネタがなくなってしまうので、続きは三月二日にさせていただきます。と思います。



めだかの学校伝言板

——第75回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／鈴木一記

教頭／木村智子

用務員／富田健

給食係／野嶋一男・山崎敏明・鈴木祐之・大谷香代子
大谷洋介・富田健・村木謙弍・加藤ひとみ
今村純子・山中幸子・渡辺三ツ子(チーフ)

<学舎> 静岡県浜松市北区引佐町東久留女木観音山
みどりの郷キャンプ場 TEL なし

開校日／平成 24 年 3 月 2 日 (金) 6:20PMより

受付／山田修平・松下幸江・大場敬子・斉藤昭(後見人)
<時間割> 今回のテーマ <今必要なのは「今風落語 長屋の熊さん八っあんの世界かも…」>

- 1 時間目 生物 伊藤宣勝先生
「いきいき、お花のお仲間さん?…」
- 2 時間目 家庭科 山本洋見先生
「おててつないで てくてくと?…」
- 3 時間目 社会科 田村進治先生
「ふれあい進ちゃんの大活躍?…」

● 給食の時間

～3月3日は「ひな祭り」。ひな御膳かなア 楽しみだね。～
10:15 閉校

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■日本人はすばらしい

(鈴木藤三郎の足跡を求めて)

この度、メダカの生徒大谷洋介・村松達雄・榊原淑友の3名と森町の仲間5名で台湾における藤三郎翁の足跡を訪ねました。訪台のキッカケは第9回の町並みと蔵展で「明治の発明王 鈴木藤三郎」をテーマに開催したのが始まりでした。まず、台湾製糖は日本統治下で砂糖の自給を行うために、森町出身の鈴木藤三郎に初代の社長を任せ1901年(明治34年)工場を建設、1999年(平成12年)まで操業してました。藤三郎は報徳の教えに従い会社だけでなく農家も良くなるという「両得農業法」を現地で実践し台湾に会社を根付かせました。また、農業生産の基盤として屏東県に袋井市出身の鳥居信平(鳥居南極越冬隊長の父)に地下式のダムを造らせました。

私は今回、日本人の素晴らしさを改めて実感いたしました。日本のお陰で台湾製糖や地下式ダムが出来た。台湾の新幹線は日本製、台湾で一番高い101高層ビルは熊谷組が造った。車の80%は日本製、日本人の物の考え方や技術力は十分世界に通用しています。パプルの崩壊以降日本人は自信を無くしています。しかし、今や世界の主流はアジアです。あの昨年3月11日の極限の時も世界中が日本人の規律正しい行動に驚きともに賞賛の声を上げました。今こそ日本人の頭脳と指導力が求められています。私たちは日本人として自信と誇りを持って行動しましょう。

感謝 榊原淑友

■めだか新春フォーラム「みんな語り合う!まちづくり・仲間づくり・絆づくり」

23年3月11日の東日本大震災以降、人と人との関わり合いの重要性が問われています。そこで「めだかの学校」では、磐田市立豊岡東公民館と協働で、めだか新春フォーラム2012「みんな語り合う!まちづくり・仲間づくり・絆づくり」を2月19日(日)午前10時から午後4時まで磐田市敷地の磐田市立豊岡東公民館で開催します。

2月19日(日)9時30分受付、10時第一部開会・開会セレモニーでは浜松花蝶ちん(藤田潤吉メダカ座長)のチンドン演奏、10時30分基調講演は「ズク出せ チエ出せ チカラ出せ」の長野県小布施町のまちづくりに大活躍の関悦子さん(株)アラ・小布施企画部長・町議)にお願いしました。12時から14時昼食交流会は、めだか得意の「手打ちそば」と「えび辛カレー」と、「本格的コーヒー」ほか。ロビーでは「コーヒーを飲みながらのピアノとフルートのコラボの生演奏。食べながら飲みながらおしゃべりの交流会です。14時「第二部」パネルディスカッション「コーディネーターは溝口久大(メダカ)。パネラーには遠州横須賀倶楽部の名物男の鈴木武史メダカ。食と農をつなげる農家レストラン「ちやの生」の豊田由美メダカ。手打ちそばを武器に趣味の農業を通して地域おこしに励む鈴木正士メダカ。ガーデニングコーディネーターで「花とまちづくり」に力を尽くす所沢市の木村智子メダカ。会場を巻き込んで溝口久コーディネーターが何を導き出してくれるか、お手の見せどころ。16時閉会。全員で片づけして、大きな輪をつくり、「今日の日はさようなら」を歌いつつ、握手して教会となります。会

費は昼食・資料代などで1000円。定員は150人(先着順)。会場にはパネルも用意してありますので、日ごろの活動の発表の場としてご利用下さい。

◎2月18日(土)は、宿泊する方も交えた「前夜交流会」が磐田市一貫地の「豊岡荘」で午後6時から行います。会費3000円。宿泊の方は泊朝食付きで4000円。飲酒する方は宿泊して下さいね。主催はめだか新春フォーラム実行委員会。実行委員長榊原淑友メダカ。副委員長は鈴木正士メダカ、鈴木真弓メダカ。お申し込み、お問い合わせは、磐田市立豊岡東公民館(磐田市敷地)0539・62・6669、又はめだかの学校事務局榊原幸雄メダカ0539・62・6691 携帯080・1612・9130へ。

■「みどりのコミュニティづくり」について「気付く・深める・拡げる」会「緑でつながり街づくりセミナー」

2月25日(土)13時~16時半まで、浜松市西区村瀬町の「OMソーラー(株)地球のたまご」2Fカフェテリアで行います。定員60名、参加費5000円。13時から甲斐徹郎氏の講演会「緑でつながりまちづくりセミナー」。甲斐徹郎氏は、東京都公園協会と共に「まちなか緑化事業」をコーディネートしている方です。15時からワークシヨップです。

主催・問い合わせは、Flower&Community 若草080・3125・2262 木村智子メダカ。

■「歌い継ぎたい日本の心」唱歌と童謡の童謡シンポジウム

童謡シンポジウムが、2月5日(日)13時から17時まで浜松市地域情報センター(浜松市中区中央)で開かれる。

シンポジウムは、日本の心である唱歌と童謡を歌い継ぎたいと、浜松唱歌と童謡を愛する会が主催。13時15分、基調講演では、作曲家・音羽ゆりかご会会長の三代目・海沼美氏が「唱歌・童謡の継承と活用の可能性を見出す」を講演。14時10分、パネルディスカッション。15時50分から童謡ミニコンサートでソプラノ歌手土屋朱帆メダカが歌う。問い合わせは浜松唱歌と童謡を愛する会の野島一男メダカ053・485・0787へ。

■磐田市北部の獅子ヶ鼻公園から虫生まで「獅子ヶ鼻トレッキングコース」と「里山ウォーク」

獅子ヶ鼻公園から虫生まで、磐田市ではトレッキングコースを整備している。総延長は4.3km。4月15日(日)にオープン記念を行う。参加費は500円(中上級者)。同時開催で「里山ウォーク」を行なう。こちらは家族記念の桜の植樹も受け付ける。一族会員1000円(桜の植樹及び記念品付)。猪鍋と甘酒、里山の味覚も楽しめる。当日は豊岡東公民館で午前8時30分~11時まで受け付ける。平成24年3月23日(金)までの事前申し込み。申込みは磐田市農林水産課0538・37・4813、豊岡支所0539・63・0020、豊岡東公民館0539・62・6669、(有)白壁館0539・62・5461。詳細はお問い合わせください。

■「いよいよ、「ミナの森」オープンニング

3/10(土)・11(日)11~16時
会場 水窪町にしろれ小学校(旧西浦小学校)
中村めだかが、サポートしている遠州地域、活性化事業「ミナの森」が、いよいよ

オープンです。浜松水窪にしろれ小学校を拠点に方言キャラクター「だら衆」を登場（水窪在住、津ヶ谷寛泰さん作）させ、アニメ・4コマ漫画・グッズ等で全国発信、さらに映画「果てぬ村のミナ」まで作ってしまおうという一大プロジェクトです。すでに4コマアニメは、新年早々HPで、一コマづつスタート、語りで、水村、鈴木（正）、本島、中村めだが、声入れしました。

当日は、4・5月撮影の内容をスライドなどで紹介、現地オーディション（ゲスト瀬木監督）サポーター募集ミナノ森キャラクターパーレード、4コマアニメ6話上映、方言録音なども行います。農産物直売、物産展、観光・山歩きガイド、食事処もあり、ご来場をお待ちしています。詳細は、ホームページをご覧ください。
http://www.miranohori.com

■開校日を前に学舎をキレイに！
2月26日（日）午前9時から学舎の清掃をします。今回は草もそれほど生えていないと思いますので、調理室とトイレ、観音塾の清掃となります。清々しく開校するために手を貸して下さい。午後は「いなさ湖」の花壇の手入れです。ご協力を！菜の花咲いてるかなア。

「人・ひと・ヒト」だより

●藤枝市の結婚2年目の小島良之メダカ。2012年の言葉は、後藤静香さんの「門のとびら」。

いかなる鉄門も必ず開く
いかなる難問も必ず 通りぬけられる
開かないのは 確信が足りないからだ
たたきようが弱いからだ
一度たたいて開かずとも 二度たたけ

三度たたけ 五度たたけ
赤誠のこぶしで叩けきに叩け 門のとびらは必ずひらく

●警田市の伊藤英雄メダカ。今年はいよとご探しが大流行して 笑顔のさざなみだらけ 何てことになったら楽しいなアそしたら地球も安心して 穏やかな年になつてくれるかも… だって。

●浜松市の水村春江メダカ。無事古希を迎えました。生かされていることを感謝しつつ原点を見つめ直す年にしたいと。「古希っていくつ？」いやな人、念押しするなんて。

●警田市の寺田幸宏メダカ。今年74歳。もう十年は元気で活動したい。まだまだしたいことが次々と…「夢あれば老いても青春」をモットーに生活するつもり。我がライフワークはミツバチ。愛すべきミツバチだつて。

●岐阜県のそばの里深草ふさの長谷川政夫メダカ。イケジョがつくる「イケダン」いい夫婦。（いっぱい書いてあったけどちよつとだけ）愛するチャーボーさん。「風呂、今日はボクが洗うヨ」と言うって、「ほんと。ありがとう。嬉しい。ごめんね」と、「洗濯するよ」には「ありがとう。優しいねマーチン」。イケジョの力は凄いだつて。分ります？。世の男性諸君。

●掛川市の山内秀彦元メダカ。NPO法人地域づくりサポーターネットワーク理事長。昨年は東日本大震災復興支援の活動中心の一年だつた。2012年も人との出会いと絆を大切に、平和で希望が持てる年としていくようフルパワーで頑張ると。静岡県知事から復興支援活動で表彰される。

●取手市の篠原準八メダカ。新刊「秘伝、野の花料理（三五館）」が年頭から書店に。佐藤秀明氏の鮮烈な写真とともに手にとってご覧ください。NPO日本つみくさ

研究会も二年目。全国山野草つみくさ町おこしサミットは10月8日に大分県宇佐市で開催の予定だつて。

●北海道・滝川市の水口正之さん。たくさんの人の顔写真とご一緒に。北海道で「めだかの学校」林間学校どうでしょうか。いろんな学習を続けること、人との結びつきの学校ですよ。めだかの学校「万才。生徒になりたい。いつか参加したいです。嬉しいですね。北海道からこのように熱いメッセージを送ってくださいとは…。

●静岡市の池田恵一メダカ。昨年はタイでマングローブ植樹のニュースリポートをして、東北の被災地を歩き、サイパンでは芝居の舞台に立ち、地元で教壇に立ち、小児ガン親の会活動は新聞で…。朝日メディアブレインの社長さんにご多忙です。メダカも取材してだつて。

●和歌山県は紀州木の国竜神の真砂典明メダカより、木彫りのエト「白龍」が三つ送られてきました。第74回の今村純子校長と、第75回の鈴木一記校長と、年男のバラメダカがいただきました。『白龍』は、東西南北の東門を守る龍だつて。

●警田市の大久保陽メダカ。オープンガーデン：4月初旬からチューリップ、6月中旬は紫陽花。週一回のコーラスは90%出席、8月は作り直したテラスで、ピヤパティ。三ヶ月に一回めだかの学校：入学して良かった、だつて。

●袋井市の村松孝司メダカ。昨年の12月10日23：40皆既（月食）見ましたか？。5月21日（金）朝7時金環日食があるから見落としてはダメですよ。直接見ると目を傷めるから注意して！、だつて。

●仙台の民族歌舞団ほうねん座。今年創立四十七年だつて。「ほうねん座サポーター」らしいの会」も発足。皆様とニコニコ結ぶネットワークの誕生。また「めだかの

学校」周年記念で公演イベントやりたいね。※新入生の紹介

●浜松市佐久間町の山田修平・ひさ子夫婦メダカ。佐久間町相月の山あいで縁側カフェを開いている。ひさ子メダカは、つるしびなやさき織りが得意。

●浜松市の松下幸江メダカ。パステル画の教室をやっている。教室を通して人を楽しくさせる活動をしている。子どもやハンディをもっている生徒が多いので、自分ができる支援がないか模索中です、と。

●浜松市の富田健メダカ。ピアノ修理、販売、買取、巻線、調律、運送、保管、ピアノ会社の社長さん。豊岡東公民館の頂いた古いピアノを修理、調整、運送をしてくれました。

●浜松市三ヶ日町の小野博義メダカ。再入学のメダカ生。しずか村の村長で自然農法のみかん栽培をやっている。なんせ消費もしないので見た目は悪いが健康食品にはびつたり。元高校教諭で色々なことに挑戦しつづけている。

■訃報

●浜松市の渥美登良男メダカ。2011年10月21日午前10時21分薬石効なく永眠いたしました。49日法要の時、娘さんがポストに入っている「めだかの学校便り」を見て連絡してくださいました。渥美メダカは一回生で、第3回目の校長です。奥さまとおふたりで自主的に受付をやってくださっていた時のことが目に浮かびます。入退院の繰り返しで病と闘いながら地域の歴史の掘り起こしなど編集に関わっていました。「冥福を祈ります。渥美先生ありがとうございました！」。

XXXX XXXX
もつともつと掲載したかったのですが、紙面の都合で今回はこれまで。

トピックス

メダカがマグロに挑戦だ！

鉄火巻き(太巻き)の長さ日本一の座を宮城県気仙沼市と長年競つてきた静岡市清水区の花井孝メダカが清水駅前銀座商店街の人たち。鉄火巻き日本一のイベントは1996年、当時の清水市でスタート。99年からは気仙沼市が参戦。現在は2010年、気仙沼が318mで日本一。いつもハートの固まりのような花井孝メダカ。東日本大震災で大きな被害を受けたライバルに「清水をまた追いつけようとする闘志を気仙沼復興への力につなげてほしい」と熱いエールを送る。

今回、清水が狙う新記録は320m・マグロ75キロ、米310キロを約800人で巻く。『さあ、3月4日、我らメダカも応援だ!!』500円持って出かけよう。『好奇心と遊び心と挑戦心』、これがおもしろ人立「めだかの学校」の建学の精神(こころ)。実行委員会では巻き手や世話役を募集している。問い合わせは054(365)9206、清水駅前銀座商店街振興組合花井孝理事長メダカに電話して。『飛べ、飛べ、今年は私の年じゃ』とバラメダカ！

そう今年も辰年。磐田市の神原幸雄メダカ。年賀状に龍の絵を書いて色鉛筆で色付けして、妻明美さんに見せたら「……でも、いいじゃない?」、10枚ほど別の年賀状ある?」だって。4歳の孫「私にもぬらせて、このうしろもしろいな」だって。「飛び龍じゃなくて横歩き龍だけ」とバラメダカ。4年間勤めた磐田市立豊岡

東公民館長はこの3月末で退任。4月からはJR磐田駅前の磐田市観光協会のお手伝いです。ぜひ遊びにいらしてください。事務局だより

大寒を過ぎると、少しづつですが春の息吹が聞こえてきます。テレビでは、北海道、東北、北陸、山陰地方では大雪だと伝えています。東日本震災で被害にあわれた皆さんには春はまだ遠くかも知れませんが、でも春は確実にやってきます。『気づきあう心の春』は、いつも心掛けていた。さて74回めだかの学校は、23年12月2日。今回は灯油を用意したので少しは暖はとれましたが。校長は今村純子、教頭は藤田潤吉、用務員は石野省三、山田修平、ひろ子夫妻、富田健、松下幸江、小野博義4人の新入生と1人の元メダカが入校しました。今回のテーマは「子育てからITまで」。一時間目牧野久子先生。「じいじばあばの子育て」、子どもたちによく読み聞かせをしたり、食物は手料理、幼稚園の頃から自然体験などと、自らの子育てなどを語る。二時間目溝口久先生「おとなりさんからポトランドまで」。明治大での阿木曜子と宇崎竜童の出会いの話や、母親の看護のこと、学校へ来る前に、知友の取材に同席して感じたことなど自らの活動のことなどを語る。三時間目村田徳治先生「アナログからITまで」。ポスターの裏を使って、時代の流れにそって書いたものを説明。また人と人のつながりが大事と地域情報誌「ばんがきん出版」を立ち上げた(※現在「ばんがきん出版」は小林佳弘メダカが発行人として続けている)、現在やっている遠州こだわりネットワーキングなどを話す。校長講話では、「めだかの便り」の校長講話にある「昭和初期生まれの高齢者たちは、戦中戦後を体験してきた貴重な人たち。今ある日本は、そうした人

たちの苦勞のもとにあることは忘れてはいけない。『じいじ ばあばの過去を思いやってね』と。事務局は11月26日の学舎の清掃、石野省三、伊藤英雄、牧野久子メダカと、お手伝いの齋藤さんの4人でやった、と報告。2月19日に開催する「めだか新春フォーラム」の概略チラシを配り、説明する。お待ち兼ねの給食は「とろろご飯」。冷えた身体がパワッと暖かくなる。おかわりも。デザートはお汁粉。今回も美味しかった。私語飲食全て禁止の次回3役発表。校長は鈴木一記。自主出版の写真集が23年度出版大賞を受賞記念もあり。教頭木村智子。前々回できなかったこととあり。用務員は新人富田健。心配そうな校長と自信ありげな教頭と、びっくり顔の用務員次回も楽しみ。給食当番、だいたい定着して来てしまったが。活動のお知らせでは、野嶋一男メダカが、2月5日浜松市で行なう童謡シンポジウムの話。中村明男メダカが水窪町の廃校となった西浦小学校を拠点に活動しているミナの森の話。袋井市の村松孝司メダカが12月10日の皆既月食と、5月21日午前7時ごろ金環日食がある、と最後は大きな輪をつくり「今日の日にはさようなら」を歌いつつ握手してお別れ。再会を約しながら夜の幕りへ……。12月22日(木)元氣村味里で新春フォーラムの実行委員会を開く、事務局から途中経過の説明と、役割分担など独断と偏見で本人の了解も得ず示す。

1月13日(金)、第75回めだかの学校の職員会議を、校長鈴木一記、教頭木村智子、用務員富田健(めん)連絡落ちで欠席)出席で開く。今回はめだか新春フォーラムや19期の通年テーマ「地域づくり 絆づくり」でもあり、授業での基本的なことを仲間、絆、地域に絞って、人をあてはめる方法をとった。一時間目生物「いきいき」伊藤宣勝、花を通じたボランティア。二時間目家庭科「おてつないでてくくと」。「山本洋見、引きこもりの人のサポート。三時間目社会科「ふれあいの進ちゃん」田村進治、自治会の支部長として地域のまとめ役。引きつづいてめだか新春フォーラムの打ち合わせも。役割分担など、チラシの内容の説明など。ああでもない、こうでもないと言ったが、よくしたもので時間になる頃にはまとまる。

■毎回遅れ気味の便り、今回は花井孝メダカの叱咤激励もあり、2月1日発行に直線。伊藤英雄さん、鈴木武史さん、本島慎一郎さん、石野省三さん、まとめ役の間瀬亮太さんお世話をお願いします。ありがとうございます。発送やら何やらお世話様の明美さん感謝。

■第19期は、24年8月31日までです。第19期は23年9月1日から24年8月31日までです。まだ継続手続きのなされない生徒は自主退学となります。至急手続きを!。入校希望の方がいましたらご連絡ください。資料と申込書を送ります。

■めだかの学校だよりの原稿を! 次回の発行日は平成24年5月1日、原稿の締切りは4月20日です。あなたの活動予定やイベント、活動実践など送ってください。郵便かFAXで。メールの方は、maabuchi-trd@yr.tnc.ne.jp 間瀬亮太090・50099・0989です。(メールの方は割付の関係もあるので一報を)。

■めだかの学校の事務局
〒438・0105 静岡県磐田市家田5
29番地20 神原幸雄方 TEL05
39・62・6691 (FAX同じ)
※学舎「みどりの郷」には電話はありません。連絡は事務局まで。
携帯080・1612・9130

